

ありのままに～自分らしさを表現できる世の中に～

娘の夢

娘がこの春美術大学に進学しました。長い間アートに興味があるものの何をしたいかが今一つ明確になっていなかった娘でしたが、現在の彼女には夢があります。それは、友人のウエディング衣装を作るという夢です。その友人にはパートナーがいて、どちらも女性の同性同士のカップルです。その二人に似合うウエディング衣装をデザインし、プレゼントするのが今の彼女の夢です。



出会いと学びを通して

娘は中学校時代にとっても貴重な体験をしました。それが、今の彼女の価値観をつくり、将来の希望にもつながっているように思います。

中学生時代、娘は大切な友人から「体の性」と「心の性」が違うことを打ち明けられました。しかし、そのこと自体は娘にとって大きく心を揺さぶる出来事ではなく、むしろ、その友人を取り巻く環境が刻一刻と変化していく様子に、これまでの価値観を大きく揺さぶられたようでした。

まず、学校では、LGBTQに関する学習が行われました。性の多様性について、知識面の学習に加え、当事者の話を聞く場も設定されました。学んでいくに連れて子ども達は自分自身の性についても考えるようになったようでした。「自分の好きな性はもしかしたら同性かもしれない」「私はよく考えたらまだわからない」等、友人同士で話すこともあったようでした。また、子どもの話をきっかけに家庭で話をされたのか、当事者の生徒が希望する制服の寄付もありました。その人らしさを大切に作る動きが生き生きと展開されていく様子に、親である私もこれまでと違った視点で物事を考えることができるようになりました。娘の人権感覚を育ててくれたのは、まぎれもなく出会った仲間と、学びを与え続けてくれた大人たちのおかげだと私は思います。

LGBTQとは

- L(レズビアン) …………… 同性を好きになる女性
- G(ゲイ) …………… 同性を好きなる男性
- B(バイセクシュアル) …… 同性も異性も好きになる人
- T(トランスジェンダー) … 体と心の性が一致しない人
- Q(クエスチョニング・クィア) … 性自認や性的指向が明確でない人



性の多様性を受け入れて

この出来事を通して、私自身のこれまでの言動が、多くの人を傷つけてきたことにも気づかされました。「彼氏(彼女)はいるの?」「結婚はしないの?」等、性に関する話題に関して、その重さを感じることなく当たり前のように投げかけてきた自分がいたように思います。

若い世代は多様性の学びを重ねて成長しています。そして、私たち親世代もまた、新しい学びによって、自分自身の感覚を問い直し、修正していくことができることを実感できました。

誰もが安心して自分らしさを表現できる世の中にするために、まずはこれまでの当たり前について家族や友人と一緒に考えてみませんか。